

町民のみなさんと歩む 木古内町 議会だより

vol. 153

令和3年2月1日発行

- 発行／木古内町議会
 - 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道虻田郡木古内町字本町218
TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-3622

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

寒中みそぎ祭り コロナの影響で規模を縮小して開催
～厳寒の中、豊漁・豊作・コロナの収束を祈願し、水ごりをする行修者～



contents

定例会・臨時会

P2

2議員が町政を問う

P4

特集1 中学生からの提言

P7

総務・経済常任委員会報告

P10

お知らせ ニュース&インフォメーション

P11

町民インタビュー

P12



12月定例会終了後、町内の飲食店でロールカーテン（上）とアクリル板（右）を設置

新型コロナウイルス飛沫感染対策

飲食業・宿泊業の事業者へ対策補助金支給

令和2年12月定例会は、12月17日に開催され、令和2年度一般会計のほか7会計の補正予算、条例の制定等の議案10件を可決しました。

- 補正予算の主な事業**
- 新型コロナウイルス飛沫感染対策補助金 310万円
 - ふるさと納税贈答品関係事業 615万円
 - 自家用自動車有償貸渡事業者（レンタカー事業者）支援補助金 150万円
 - 税制改正対応国民年金システム改修委託料 46万円
 - 中野第6頭首工油圧装置及び電気設備更新工事 500万円
 - 中小企業・小規模企業経営改善等支援事業補助金 900万円

- 意見書**
- 道南いさりび鉄道運行補助金 295万円
 - 職員に係る期末手当 △270万円
- 各関係大臣へ意見書1件を提出**
- 意見書案の審議では、1件を原案のとおり可決しました。
- コロナ禍による地域経済対策を求める意見書
- ・提出者 手塚議員
 - ・賛成者 東出議員
 - ・賛成者 吉田議員

可決された 主な議決事項

- 議案第1号 令和2年度木古内町一般会計補正予算（第10号）
- 議案第2号 令和2年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 議案第3号 令和2年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 議案第4号 令和2年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算（第5号）
- 議案第5号 令和2年度木古内町簡易水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第6号 令和2年度高齢者介護サービス事業会計補正予算（第3号）
- 議案第7号 令和2年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第8号 令和2年度木古内町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第9号 職員の特殊勤務手当の支給に関する条例制定について
- 議案第10号 木古内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 意見書案第1号 コロナ禍による地域経済対策を求める意見書

一般質問
2議員より

諮問

人権擁護委員に
佐藤 裕史 氏

人権擁護委員の候補者として「佐藤裕史」氏が推薦され、議会の意見を求められましたので、可と答申いたします。



佐藤 裕史 氏

発議案

議会閉会中の所管
事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目を承認しました。

【まちづくり新幹線課】
・新型コロナウイルス感染症対策について
【町民課】
・認定こども園について

その他緊急を要する課題について

質 疑

職員の特殊勤務手当 町独自の判断による 条例制定なのか

安齋議員 職員の特殊勤務手当の支給に関する条例制定は全国的なものなのか、それとも町独自で設定する条例なのか。また、どのような業務を想定しているのか。

福田総務課長 自治体によって、制定するしないの判断となります。町独自におきましては、想定しておりません業務は、一般会計に属する職員がコロナ関連の業務に従事する場合、災害発生の際の避難所運営、あるいは行旅病人に対する対応、こういったものがその業務にあたることを想定してございます。

竹田議員 特殊勤務手当が3段階に分かれています。感染症患者に関わったこの防疫手当を支給することで良いと思いますが、3段階に分けた理由をお聞かせ願います。

のは、指定感染症として指定されているものは2千円、そのうちコロナに限ったものについては、3千円・4千円に分かれています。この金額は、人事院規則が改正されたことに基づき設定しています。

ふるさと納税の 増額に対する説明を

新井田議員 ふるさと納税について、非常に大幅な増額の見込みをされているということ、今に至った経緯を説明願います。

福田総務課長 平成2年度当初予算は、過去の実績等から約700万円を計上しておりましたが、今年度、ふるさと納税に関するサイトを増やす努力等を重ねた結果、現状11月末現在で約1千400万円の寄付がされている状況に鑑み、1千800万円を今年度の寄付額と修正しました。

今後も、さらなる検討等を加えながら、努力してまいります。

飛沫感染対策補助金 31店舗にした理由は

平野議員 新型コロナウイルス飛沫感染対策補助金ですが、発生当初から対策に取り組んでいる事業者がいる中で、対象事業者を飲食業を含む31店舗にした明確な理由をお聞かせ願います。

片桐産業経済課長 マスクを外さなければ飲食ができません。マスクを外すと飛沫感染に繋がりが、クラスターの発生原因にもなりますので、飲食・宿泊事業者を対象としています。また、宿泊事業は、朝食を提供する際に、1箇所を集まるため、今回は飲食、宿泊事業者を対象としています。

平野議員 他のサービス業あるいは小売業の方々のお客さんもマスクをしていない場合が多いです。そういうお店は既にビニールシートを貼ったり、ドアやトイレ等を消毒したり努力されています。もっと金額を低くし、範囲を広げてほしいのではありませんか。その辺を、もう一度詳しく説明願います。

羽沢副町長 国の分科

会等からはアルコールを提供する業種、飲食を伴う業種と公表されており、そこを町として、しっかりと飛沫感染防止対策を行いたいということ、この31店舗をピックアップし、事業を進めたいと考えております。確かに小売業等の方々は、レジの所に設置しているというのも十分承知してはいますが、あくまで飲食、アルコール等を提供する事業者。そこを飛沫感染防止するため、この事業に取り組みたいという内容でございます。

道南いさりび鉄道 経営は大丈夫か

竹田議員 いさりび鉄道の負担金は、これから将来にわたって4%の負担です。コロナの影響等で減収しているため、将来を心配しているが。

木村まちづくり新幹線課長 人口の減少に伴い経営は、厳しい状況が続きます。経営計画を10年で策定し、それに沿って収支状況をみています。

可決された 主な議決事項

- 議案第1号 令和2年度木古内町一般会計補正予算（第9号）
- 議案第2号 議員報酬及委員会費用に関する支給条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第3号 職員の給与に関する条例制定について
- 議案第4号 木古内町長等給与の一部を改正する条例制定について

第4回 臨時会 11月9日開催

質 疑

竹田議員 今回の商品券発行にあたって、経済対策として商品券の発行が一番ベターだということなのか。

羽沢副町長 担当課を含む、まちづくり新幹線課を中心とするプロジェクトチームで議論をしっかりと踏まえ、制度設計した中で提案している。

平野議員 事業者あるいは町民を守るために、基金や一般財源を投入してでもこの困難を乗り切るといふ力強い発言がほしいのですがいかがか。

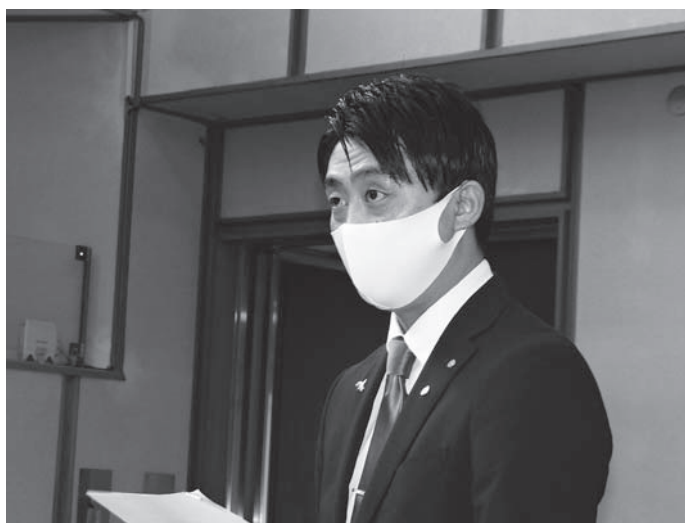
鈴木町長 交付金を有効に活用し、財政運営をしっかりとやってくのが基本です。それでも厳しい時には、町独自の支援をしていきます。

一般質問

2名の議員が

町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



相澤 巧 議員

❶ 萩山・薬師山の施設等整備について

新井田昭男 議員

❶ 「新型コロナウイルス感染症」に対する行政危機管理体制について



相澤 巧 議員
Aizawa Takumi

問 町民や観光客が安心して利用するため萩山・薬師山の整備を

答 安心・安全に散策するための補修を行います — 町長

**萩山・薬師山の
早急な整備を**

木

古内町の観光名所の一つである萩山・薬師山は、町全体や津軽海峡、さらには青森県まで一望できる場所として認識されており、

春のシーズンには二千人を超える観光客が訪れており、多くの町民も散策コースとして利用されており、また、ことしの9月

には、前年に択伐された萩山の斜面に、サクラ・カエデ・モミジなどが植栽されており、今後も整備がされていくものと思っておりますので、次の2点について町長の見解を伺います。

・萩山の間伐について
・萩山展望台や遊歩道などの整備について

鈴木町長 萩山の展望台から西側については、保安林指定されており、

間伐などの伐採は検討しておりません。

また、東側の針葉樹林については、一部保安林指定されている箇所や、それ以外の山林については伐採施業について材積を2分の1以上維持した施業に限られております。

これらの針葉樹につきましては、林齢がすでに50年を超えており、今後、森林整備計画に沿った択伐施業にて実施してまいりたいと思っております。

萩山展望台は、いますぐに補修工事をする事は検討しておりません。遊歩道や萩山と薬師山をつなぐ「いこい橋」につきましては、老朽箇所や一部破損箇所が見受けられましたので、今後は、安心・安全に散策するための補修を行います。

再質問 広葉樹は大丈夫ですが、針葉樹は幹が細いものや枯れて傾



9月に実施した植樹祭。サクラ、カエデ、モミジなど25本を植樹。

いているもの、さらには密になっている部分があります。これは早めに対応しなくてはならないと思います。

展望台については中が鉄骨で外は木で囲っているという状態ですが、床に面した部分は腐れて落ちかけています。

また、いこい橋は、補修箇所もありますが、さびがかなり見えています。傷みが小さいうちに手をかけたほうが費用も少額で済むと思うがいかがか。



現在のいこい橋の様子

鈴木町長 保安林の危険性が生じる支障木等が発生した場合には、北海道と協議し、許可を得て施業を行っていきます。

展望台、いこい橋は、早めに対応できるように努めてまいりたいと思っております。



新井田 昭男 議員
Niida Akio

問 新型コロナウイルス感染症に対する行政危機管理体制は

答 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しています ——— 町長

新型コロナウイルス感染症に対するさらなる感染対策は

本 年2月以降、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、

瞬く間に全世界に感染が広まり脅威となっており、ワクチン開発が急ピッチで進められているが、未だ我が国の国民に対するワクチン投与の時期は不明でございます。発生から1年近い歳月が流れた現在もマスクの着用、手洗いや手指消毒、うがい、換気、3密回避の行動など、現代医学をもつても一人ひとりの自助努力に頼らざるを得ない状況に憤りを感じております。

感染症の対策ですが、住民と役場本庁舎を含めた公共施設の感染防止に対するさらなる対策についてお聞きします。

鈴木町長 感染予防対策の周知は、防災行政無線や町ホームページなどを活用し、啓発を行っており、今後もしっかりとした励行等の新北海道スタイルの実践による、町民の感染予防に関する意識の高揚を図ってまいります。

役場本庁舎を含めた公共施設の感染防止ですが、役場庁舎にはロールスクリーンを設置し、飛沫による感染防止を図るとともに、手指消毒液を設置しました。

また、教育施設では、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定事項に基づき、施設利用者の制限や新北海道スタイルの取り

組み、加えて各種事業の規模縮小・延期・中止等の判断を行っております。各町内会館等には、使用頻度の高い施設には消毒液を常備しています。その他の施設には、使用の都度設置しています。また、換気のため、網戸未設置施設への網戸の設置を考えております。

再質問 町長自らが防災無線を活用し、町民の皆さんに熱いメッセージを送ることも必要だと思えますが。

鈴木町長 町内・町民の皆様から感染者が出た時に、防災無線を活用し、私からのメッセージを放送するというのが、検討してまいりました。

再々質問 コロナ禍においても対応できるシステムを構築する必要があると思えますが。

鈴木町長 私が不在の時は、副町長が代理と

して防災の動きを進めていくとそういった体制をとっております。

質問2 当町においてクラスターや陽性者が確認された場合の危機管理対策についてお聞きします。

鈴木町長 当町では、令和2年の2月25日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置いたしました。陽性者が確認された場合は、この対策本部においてその後の対応について、検討・協議を行うこととしてまいります。

また、クラスターが発生した場合には、関係機関と連携し、対応してまいります。

再質問 新型コロナウイルス感染症、これを有事と認められるか惨事としか見ていないか。

鈴木町長 私は、有事・惨事の両方だと思っています。

特集 1

中学生からの の提言

町の将来を考える

企画書・パンフレットを考案

町長と議長へ手渡す



提言をした第3学年代表者の皆さん

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで中学3年生が授業の一環として毎年、実施しておりました中学生議会の開催が出来なくなったため、授業内容を変更し、「木古内町には何が必要か」また「木古内町をPRするには何を紹介すれば良いか」など、様々な視点から木古内町の将来を考え、グループごとに、企画書及びパンフレットの作成に取り組んできました。12月9日に、その成果の内容を説明した後、町長と議長へ企画書とパンフレットを手渡しました。

街づくり企画書

企画書の内容は、左記のとおりです。

- ・LINEスタンププロジェクト
- ・あなたのスマホにも木古内がある
- ・インスタ映えする木古内のソウルフード
- ・喫茶店で人を呼び込もう計画！



企画書とパンフレット

パンフレット

パンフレットの内容は、左記のとおりです。

- ・おいでよ木古内
- ・木古内フード
- ・みそ祭り
- ・木古内地図

企画書及びパンフレ

ットの内容は、グループごとに2〜4名で企画立案しており、それぞれが大変興味のある内容となりました。今回、提言いただいた内容については、議員一同、今後の「まちづくり」に役立てたいと思います。
(詳細は次ページへ)



議長へ企画書を手渡した小田桐くん

木古内町の街づくり企画書

#あなたのスマホにも木古内がある

LINE スタンププロジェクト

LINE スタンプを制作して少しでも木古内を知ってもらおう！

LINE スタンプを通して知名度が上がり、木古内町が盛り上がる！

LINE スタンプについて

LINE スタンプは制作して少しでも木古内を知ってもらおう！

LINE スタンプを通して知名度が上がり木古内町が盛り上がる！

LINE スタンプについて

LINE スタンプは制作して少しでも木古内を知ってもらおう！

LINE スタンプを通して知名度が上がり木古内町が盛り上がる！

喫茶店で人を呼び込もう計画！

LINE スタンププロジェクト

LINE スタンプを通して知名度が上がり木古内町が盛り上がる！

LINE スタンプについて

LINE スタンプは制作して少しでも木古内を知ってもらおう！

LINE スタンプを通して知名度が上がり木古内町が盛り上がる！

LINE スタンプについて

LINE スタンプは制作して少しでも木古内を知ってもらおう！

LINE スタンプを通して知名度が上がり木古内町が盛り上がる！

内容 LINE スタンプを作成し、少しでも多くの方に木古内町を知ってもらいたい。

成果 LINE スタンプを通して知名度が上がり、木古内町が盛り上がる！

スタンプについて 木古内町のご当地マスコットのキーコと木古内町の魅力を詰め込んだ作品になっています。



LINE スタンププロジェクト

作成者

方策 ツイッターを生かして木古内をPRします。フォローしてくださった方に、木古内町の飲食店で使用できるクーポンを配布いたします。

成果 ①観光客が増え、町が有名になる
②町の評判が良くなる
③木古内に活気が出る

フォロワーしてお得にごはんを食べよう!!



#あなたのスマホにも木古内がある

作成者

方策 木古内のことを知ってもらえるように、インスタ映えるような食べ物や3つ考えました。

① 函館和牛唐揚げ刺し
② 木古内の野菜ジュース
③ みそぎの塩ソフトパンケーキ

成果 食べ物を通じて木古内に来る人が増える。木古内の魅力を観光客に伝えられる。



インスタ映えるする木古内のソウルフード

作成者

方策 スタンプラリーやクーポン券を作る。スタンプラリーは、小売店を中心に実施。クーポン券は、道の駅でスタンプを押してもらい、溜まったら木古内の喫茶店で使用できるクーポン券を配布。

成果 クーポン券を求めてくる人が増えるかも。スタンプラリーやクーポン券の絵を見て木古内のことを知ってもらえるかも。



喫茶店で人を呼び込もう計画

作成者

木古内町観光パンフレット



掲載内容 サラキ岬 沖合では幕末に活躍した咸臨丸が眠る岬。チューリップの花壇が整備、咸臨丸のモニュメントや終焉記念碑、史跡看板などが設置されています。また、毎年5月にイベントが開催されます。

・いかりん館
・佐女川神社

※それぞれの施設を掲載していますが、サラキ岬のみ紹介しました。



おいでよ、
木古内のページ

掲載内容 木古内の有名なフードについて、左記の4つを紹介しています。

・みそぎの舞 純米酒
・塩ソフトクリーム
・函館和牛コロツケ
・ぱくぱく塩パン

※それぞれのフードについて、価格・取扱店・商品のコメント・住所を掲載しています。



Kikonai's
Foodのページ

掲載内容 海中沐浴の写真をバックに、みそぎ祭りを「木古内寒中みそぎ祭りは、毎年、冬に行われ、ふんどし姿の若者が極寒の海に入水し、豊作や豊漁を祈願する。「冬が来たな」と思わず、町民の心が一つになる行事である。」と紹介し、ご神体については、「みそぎの神々は、佐女川神社に祭られています。」と掲載しています。



みそぎ祭りの
ページ

掲載内容 木古内地図は、道の駅とサラキ岬を写真付きで掲載。また、移動手段として、新幹線と道南いさりび鉄道での移動時間を掲載しています。

町長講評 いろいろ工夫された提言、だと感じました。将来、魅力ある人間になることを期待しています。

議長講評 大変素晴らしい提言をいただきました。議員一同で、明日からのまちづくりに活かしたいと思います。



木古内地図の
ページ

総務・経済 常任委員会 レポート

12月定例会において 「所管事務調査報告」 が行われました。

総務・経済常任委員会は9月定例会以降、所管事務調査を2回開催し、12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第3回 10月29日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
・発注工事現地視察について
- まちづくり新幹線課
・地方創生臨時交付金実施計画登載事業について
- 町民課
・認定こども園について

第4回 12月3日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
・簡易水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について
- 病院事業
・国民健康保険病院事業会計及び高齢者介護サービス事業会計の上半期収支状況について
- まちづくり新幹線課
・新型コロナウイルス感染症対策事業について
・道南いさりび鉄道令和2年度上期決算について
・高規格道路函館・江差自動車道インターチェンジの名称について

新型コロナウイルス感染症対策事業 今後の事業に対し高い効果を期待

「所管事務調査報告」

人口減少により 使用料金の減少 更なる企業努力を

簡易水道事業会計上半期収支状況については、上半期の経常損失が大幅に赤字となっている。その要因としては、新型コロナウイルス感染症対策として実施した水道使用料金及びメーター使用料の減免によるものである。令和2年度決算見込

みでは、水道料金の減免に対する地方創生臨時交付金が他会計補助金として充当されることや経費を節減したことにより、営業収益は前年度決算より収支不足が大幅に改善される見込みである。

今後、人口減少による水道使用料金の減少や企業債償還の負担等があり、簡易水道事業会計の収益においては、今後も厳しい事業運営が予想されることから、

更なる企業努力を望む。

利用者の維持及び 増加を図り、収益の 安定的な確保を

国民健康保険病院事業会計上半期収支状況については、上半期決算において入院・外来ともに患者数は減少したものの、外来収益は単価が増加したため増収となったが、入院収益は、コロナ禍の影響により、感染拡大防止の観点から病室の個室

化と入院期間の短縮などの感染症対策を実施したため、入院患者が減少し昨年に続き赤字となった。収支不足分は年度末に交付される新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業により補填される見込みである。

コロナ禍において病院事業では感染症対策に苦慮されているところであるが、職員の安心安全、健康に配慮し医療業務に従事してい

ただきたい。

高年齢者介護サービス事業会計では、同じく

コロナ禍の影響により、入退所時に感染症対策を実施したため、手続きに以前より時間を要

することとなり、入所者が減少する結果となった。また、通所リハビリテーション事業に

おいて、利用者が大きく減少したことから赤字となった。今後の経営において、各事業者との連携を強化すると

ともに、新たな経営改善策を検討し、利用者の維持及び増加を図り、収益の安定的な確保に努めていた、きたい。

新型コロナウイルス感染症対策事業
高い効果を期待する

新型コロナウイルス感染症対策事業については、これまでの当町における感染症対策事業では、一定程度の経済効果や感染症対策効果が見受けられる。今後もコロナ禍での事業者・住民の自助意識の高揚に努めていた、だくとともに、新型コロナウイルス経済対策プロジェクトチームが中心となり、制度設計及び立案する事業に対し高い効果を期待する。

発注工事の現地調査

調査場所：小規模多機能型居宅介護施設建設工事、浄水場紫外線装置及び非常用発電機導入工事、道宮住宅第2期建設工事



「小規模多機能型居宅介護施設建設工事」の現地視察（10月29日開催の第3回総務・経済常任委員会）

議員活動に必要な知識を習得

～松前町で合同議員研修会に参加～

お知らせ

NEWS & INFORMATION

11.13 松前町議会及び渡島西部議会合同議員研修会へ参加



11月13日（金）松前町町民総合センターにおいて、松前町議会及び渡島西部議会議員合同研修会が開催され、6名の議員が参加し、町村議会の現状と取り組みを研修しました。

12.4 第3回渡島西部広域事務組合定例議会へ出席



12月4日（金）福島町役場議場において、第3回渡島西部広域事務組合定例議会が開催され、又地議長・手塚議員、吉田議員が出席し、提出された議案を可決しました。

町民インタビュー出演者募集

今まで16名の方に町民インタビューを行い、議会や町への思いを掲載してまいりました。自分の思いを議会だよりに掲載したい方がおりましたら、下記の連絡先もしくは最寄りの議会議員まで連絡いただければ、次回以降の議会だよりへ掲載いたしますので、ご連絡くださいますようお願いいたします。

【連絡先】木古内町議会事務局 電話 2-3131 FAX 2-3622

町民インタビュー

No.16

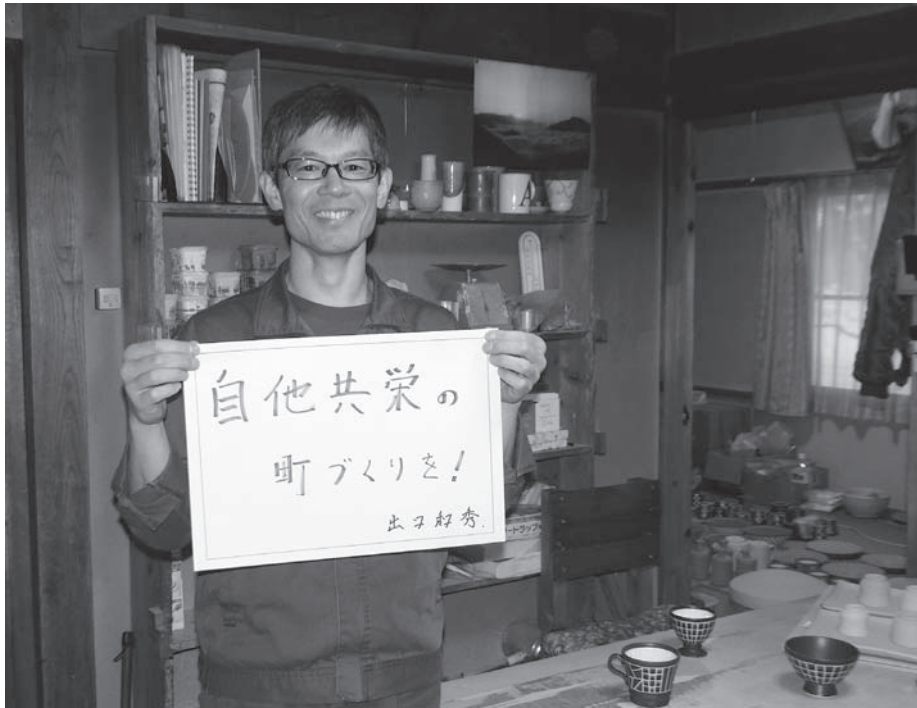


～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します ～

木古内町議会だより

発行／木古内町議会
編集／議会だより編集特別委員会

住所／〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町218番地
TEL(01392)2-3131 FAX(01392)2-3622



出口 和秀さん (47歳)

宮城県生まれ。釜谷地区在住の陶芸作家。バイクをこよなく愛する47歳独身です。小中高校までは福島県だったので、福島県出身という意識です。
釜谷へは15年くらい前に移住してきました。釜谷地区を選んだ理由は、そこに窯があったから。「カマヤ」だけに? (笑)
現在は、「白龍窯憩庵」という名前で活動しており、原材料がオール木古内の作品を目指しています。粘土の出土情報などありましたらよろしく願います。

現在の仕事について伺います?

陶芸作家です。始めたのは15年くらい前ですが、仕事としたのは、もっと後です。ロクロで理想通りの形に挽けた時は、非常に嬉しいです。陶芸は「楽しい」しかありません!大変だと思うのは、ロクロで作業しているときに腰をやられることくらいです。それでも、窯焚きの結果、釉薬が思わぬ色を発色したり、土が様々な表情を見せてくれたりと、驚き・発見・感動の毎日を送っています。

今後、町に期待することは?

高齢者に対する福祉を充実させると同時に、若者が憧れるような「お洒落」な街づくりを望みます。そして、鎌倉や湘南のような「木古内町」自体がブランドになればいいと思います。そのためには、街の景観を整え清潔感をアピールし、「都会の人が憧れる田舎暮らし」が現実になるような町にする。町全体の方向性をしっかり定めることが重要だと思います。

議会に期待することは?

地方議会にありがちな、馴れ合いや不正を徹底的に排除したクリーンな運営を願っています。有権者一人ひとりの顔を常に胸に抱いていて欲しいです。

(インタビューアー：安齋委員)

編集後記

令和も3年となり、新しい年を迎えることができ、ありがたいと思う反面、これほど正月気分を感じられなかった年は無いと実感しています。これは、「新型コロナウイルス感染症」拡大の影響に他なりません。第3波の大流行による非常事態に抑制された生活を強いられた、人の集まる行事は、ほぼ中止となりました。
■木古内町でも成人式や寒中みそぎフェスティバルも中止。あり得ないことが今日の現実となっています。
■また、昨年末から正月の三ヶ日にかけて、数十年に一度といわれる大寒波が来襲し、雪かきに追われる日々から始まり、皆様におかれましては、大変ご苦労されたことと思います。
■今後、まだ寒い日が続きます。この冬は、全国的に除雪作業での事故が多発しております。除雪の際には周囲の安全を確認し、作業するようお願いいたします。
■本年が、町民の皆様にとって良い年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

議会だより編集特別委員会
副委員長 安齋 彰